

# 蒙疆政府年表

祁 建民

Moukyo Government Chronological Table

Jianmin QI

1911年	設立,行政長官を都統と称する,そして「道」も設置。熱河都統は熱河道,卓索図盟,昭烏達盟を統轄;綏遠都統は綏遠道,ウランチャブ盟,イクチョウ盟を統轄;チャハル都統は興和道,シリゴロ盟,チャハル左翼四旗,チャハル右翼四旗各牧厂,達里岡崖,商都各牧厂地方を統轄
12月29日 外蒙古がジェブツンダンバ八世を皇帝に推戴して独立を宣言	
1912年	1916年
3月10日 袁世凱臨時大統領が蒙古王公連合会へ書簡,銀一万両の慰安金を支給	6月27日 バブージャブが兵を挙げる
3月25日 蒙蔵統一政治改良会を設立	1919年
4月6日 蒙古王公連合会が民国政府に「蒙古特別待遇」要求11条を提出	10月 徐樹錚が庫倫に入り,自治返上を迫る
4月10日 五大民族共和連合会が成立	11月 外蒙古自治撤廃を公表
7月 民国政府は蒙蔵事務局を設立(この前内政部によって蒙蔵事務を管理)	1921年
8月21日 中華民國は「蒙古待遇条例」を公布	2月 外蒙古ボクト・ハーンを復位
9月20日 民国政府は「加進実賛共和之蒙古各扎薩克王公封爵」大統領令を公布	5月1日 京綏(北京-綏遠)鉄道が開通(9月1日 本格運輸開始)
10月28日 東蒙王公会議を開催,東部内蒙の蒙古王公が共和に賛成	1922年
10月 張紹曾が綏遠城將軍に就任	3月14日 日本張家口総領事館を開設
1913年	1923年
1月23日 ウランチャブ,イクチョウ盟両盟会議(西盟会議)を開催,王公達は共和に賛成	秋 北京蒙蔵学校を再開
11月 中露宣言でロシアは外蒙古における中華民國の宗主権を承認	1924年
1914年	4月 白海風が黄浦軍校に入学(第一期)
2月19日 民国政府は「禁止私放蒙荒通則」と「墾辟蒙荒奨励弁法」を公布,蒙地を開墾・開放を決定	11月 モンゴル人民共和国が誕生
7月6日 熱河,チャハル,綏遠三特別区を	12月 張之江がチャハル特別区都統に就任
	同年-1929年 日本陸軍松室孝良大尉が北京と張家口にて,中国民族問題などを研究
	1925年
	1月13日 「内蒙古各盟旗各団体代表大会」は北京で開催
	1月 馮玉祥が西北辺防督辦に就任,督辦公

署は張家口に設立

1月 李鳴鐘が綏遠特別区都統に就任  
 10月13日 内蒙古人民革命党第一回代表大会は張家口で開催  
 1926年  
 2月 シニ喇嘛が烏審旗で「独貴竜」運動を発動  
 8月 内蒙古人民革命党中央機関は包頭に移す  
 1927年  
 8月 内蒙古人民革命党特別会議はウランバートルで開催、中央機関を改造  
 1928年  
 3月 国民党中央政治会議は「蒙蔵委員会組織法」を採択、準備委員会責任者は白雲梯  
 7月 チャハル部代表杭錦寿らが南京に請願、チャハル自治を要求  
 7月 綏遠墾務総局が「弁理墾務通則」を作成  
 9月17日 国民政府は熱河、チャハル、綏遠、青海、西康などの新省を建省と命令。  
 チャハル四牧群を旗に改め、シリ-ンゴル盟とチャハル左翼八旗をチャハル省に、チャハル右翼四旗とウラ-ンチャブ盟を綏遠省に帰属  
 9月 呉鶴齡が「蒙古代表団」を率いて南京に請願、内蒙古において省を設立に反対  
 1929年  
 2月 蒙蔵委員会を設立（委員長閻錫山）。その附属機関：駐平弁事処、蒙蔵招待所、北平蒙蔵学校、北平ラマ寺廟整理委員会、蒙蔵政治訓練班、蒙蔵月刊社、各地派遣調査組、殺虎口牧場、張家口牧場、チャハル蒙旗特派員公署、蒙古各旗協贊専員および西陲宣化使公署、蒙旗西陲宣化使公署など  
 3月 綏遠墾務総局は「各蒙旗徴収歳租弁法」を公布  
 5月 徳王と蒋介石が手紙を交わす、徳王が辺地建設について建言  
 6月15日 国民党三回三中全会は「関于蒙蔵之決議」を採択  
 6月 佛鼎、烏蘭夫らが中国共産党西蒙工作

委員会を設立

1930年  
 3月 「察哈爾省奨励蒙民種地弁法」を公布  
 5月 蒙古会議は南京で開かれ、「蒙古盟部旗組織法」を制定、「蒙古農業計划案」と「蒙古墾殖計划案」を採択  
 5 - 12月 日本東亜考古学会 張家口、シリ-ンゴルを踏察（メンバーは島村保三郎、江上波夫、盛島角房ら）  
 6月、10月 中国共産党内蒙古特別委員会を破壊され、再建  
 1931年  
 1月7日 蒙古文化経済共進会附属蒙文補習学校が北京で開校  
 1月 国民政府は「移民実边案」及び「丈放錫林郭勒盟等処生荒以興墾而固边防案」を採択  
 7月 中国共産党西北特別委員会は設立、王若飛が書記長に就任  
 9月18日 満州事変の勃発  
 9月20日 国民政府参謀本部の規程により、陸軍大学は蒙古各盟に一人が入学  
 9月30日 国民会議で綏遠代表が収回外蒙を提議  
 10月9日 蒙古旅京同郷大会は各旗へ打電、抗日を呼びかけ  
 10月12日 「蒙古盟部旗組織法」を公布  
 11月30日 「蒙蔵旬刊」第8期に、奮生「従日本『対内外蒙古之積極政策』説到各王公應取之態度」を掲載  
 11月 関東軍は通遼を占領。松井源之助、磐井文雄らが対蒙工作を展開  
 12月10日 国民政府「蒙旗保安隊編制大綱」を公布  
 1932年  
 2月 鄭家屯で「東部内蒙古各旗代表会議」が開かれる  
 3月1日 満州国は成立、国务院興安局を設立、総長齊默特色木丕勒、次長菊竹実蔵  
 7月 晋綏綏靖公署が「綏区屯墾計划綱要」を作成  
 7月 支那駐屯軍が「綏遠蒙旗事情」を作成

8月3日 満州国は興安局を興安総署に改称  
 8月 晋綏綏靖公署綏区屯墾督弁弁事処、包頭で設置（督弁閻錫山、代理督弁王靖国）  
 11月 関東軍参謀副長に直属する「蒙古研究員」を組織（第一期は田秀実、中嶋万蔵、倉永保、山本信親など）  
 1933年  
 2月 熱河作戦を開始、李守信の興安遊撃師を察東警備師と改称  
 3月 東京で「日蒙協会」を創立  
 3月23日 関東軍が熱河作戦を開始  
 4月 関東軍承德特務機関を設立（機関長松室孝良大佐）  
 4月 下永憲次「蒙古は支那に非ず」を掲載（「歴史公論」）  
 4月 関東軍田中久少佐と金永昌（駒場農大卒）がウジュムチン王府へ  
 5月 烏古廷部隊が李守信部隊と合流  
 5 - 7月 馮玉祥が張家口で「チャハル民衆抗日同盟軍」を組織、多倫を克復、その後失敗  
 6月 大谷正義「徳王と内蒙自治運動」を掲載（「地方行政」）  
 6月 安田保善社の「東京殖民貿易語学校」及び「保善商業（夜間）」を「日蒙協会」に吸収  
 7月16日 関東軍参謀部が「暫行蒙古人指導方針要綱案」を作成  
 7月26日 百霊廟第一回自治会議を開催  
 7月 支那駐屯軍が「張庫の現状と其関係」を作成  
 7月 烏古廷が承德で松室孝良と会見  
 7月 多倫（機関長宍浦直徳）（『日本陸海軍の制度・組織・人事』により、開設時間は12月6日）、西ウジュムチン（機関長盛嶋角房）特務機関を開設  
 8月 支那駐屯軍が「陰山部内・綏遠特別区域地誌」を作成  
 9月 下永憲次らが「蒙古語大辞典」を上梓  
 10月9 - 24日 百霊廟第二回自治会議は「内蒙古自治政府組織大綱」を採択  
 10月 松室孝良が多倫で蒙古王公会議を主催

10月 松室孝良が「蒙古建国に関する意見」を作成  
 10月 依田四郎が「日蒙協会」理事長に就任  
 11月10 - 19日 国民政府内政部長黄紹竑・蒙蔵委員会副委員長趙丕廉が百霊廟でモンゴル側と自治に関して交渉  
 11月15日 二階堂泰治郎中佐が関東軍承德特務機関長に就任  
 11月 清水泰次「西部内蒙古問題」を掲載（「外交時報」）  
 11月 「日蒙協会」を「善隣協会」と改称、井上璞が理事長に就任  
 12月 関東軍が「蒙古兵要地誌」を作成  
 1934年  
 1月12日 財団法人「善隣協会」として設立認可（会長一条実孝）、「善隣協会調査旬報」を創刊  
 1月24日 関東軍参謀部が「対察施策」を作成  
 2月28日 国民政府中央政治会議は「蒙古地方自治弁法原則」を採択、チャハル盟の設立内定  
 3月7日 国民政府は「蒙古地方自治政務委員会暫行組織大綱」、「蒙古地方自治指導長官公署暫行条例」を公布  
 3月20日 国民政府は死去した貢桑諾爾布を優卹と決議  
 3月 チャハル省政府がチャハル左翼四旗・四牧群の境内に化徳、尚義、崇礼三つの設治局を設置  
 4月8日 植山英武少佐が多倫特務機関長に就任  
 4月23日 百霊廟蒙政会が成立、委員長雲王  
 4月25日 東亜興業会社と平綏鐵路管理局の間に平綏鉄道借款（一〇四〇万圓）を成立  
 4月 日本東亜産業協会が「察哈爾事情調査書」を編纂  
 4月 盛嶋角房がアバカ特務機関長に就任、その後徳王に武器を援助  
 5月 参謀本部依託蒙古留学生10名が来日、善隣協会により世話  
 5月 宍浦直徳が西ウジュムチン特務機関長

に就任

6月 松井源之助中佐が関東軍承德特務機関長に就任

6月 藤井尚治「『義経』満蒙英雄論」を掲載（『歴史公論』）

6月 源勝麿「源義経の蝦夷落説と成吉思汗説再考」を掲載（『歴史公論』）

8月1日 張家口特務機関を設立（機関長松井源之助大佐）

8月 李守信の興安遊撃師、「察東警備軍」となり、多倫へ。

8月 井上璞一行が訪蒙、徳王と会見

9月 韓鳳林暗殺事件、徳王の側近韓鳳林が北平で国民政府に暗殺され、土肥原賢二が徳王に訪問

10月26日 第一回張北事件。宋哲元部隊の日本武官と書記生に対する検問

10月 善隣協会の「内蒙支部」が多倫で開設

11月7日 徳王・雲王、綏遠で蒋介石と会見

11月 徳王依託蒙古留学生9名が来日

12月1日 満州国興安総署を蒙政部に改称、大臣斉黙特色木丕勒（チムトソムヘロ）、次長依田四郎、総務司長関口保

12月 盛島角房「外蒙古と自治内蒙古の現状」を掲載（『満蒙』）

1935年

1月 関東軍が大連会議を開催

1月 「善隣協会調査月報」を創刊

2月2日 「善隣協会専門学校」を創立

2月5日 「大灘協定」に調印

2月 田中久中佐が関東軍承德特務機関長に就任

2月 盤井文雄の「対『満州国外、内蒙古』策具申」板垣副長に提出

3月 善隣協会が東京で「蒙古学生部」及び善隣学寮を開設、モンゴル人留学生を世話・教育

4月 張家口日本人小学校が領事館内に開設

5月 関東軍参謀部石本寅三・田中隆吉が徳王と面会、日本・満州・蒙古との協力を約束

5月 善隣協会がアバガで診療を行う

6月5日 第二回張北事件。日本特務機関一

行が監禁される

6月23日 張北事件に関して土肥原少将が秦徳純に宋哲元軍の撤退、チャハル省より党部の撤退などの要求を提出

6月27日 土肥原・秦徳純協定に調印

6月 徳王依託蒙古留学生4名が来日

6月 西スニト特務機関（機関長穴浦直徳）を開設

7月25日 関東軍参謀部が「対内蒙施策要領」を作成

7月 関東軍より徳王に飛行機を贈呈

7月 善隣協会蒙古留学生の第一回夏期訓練を実施

8月1日 浅海喜久雄が多倫特務機関長に就任

8月26日 軍務局長より関東軍に「北支及内蒙に対する中央部の指導」を開示

8月 善隣協会理事長井上璞一行が第二回訪蒙

9月18日 関東軍参謀副長板垣征四郎、西ウジユムチン旗で索王、徳王と会見、索王が関東軍との合作に反対、徳王が関東軍に接近

9月 「蒙古軍幼年学校」は開校

10月 徳王、金永昌、包悦卿らが百靈廟で中沢達喜、中嶋万蔵、山本信親と会談

11月15日 善隣協会がアバガ第一初級学校を開設

11月21日 第三回蒙政会委員会で対日協力について討議

11月末 徳王、第一回満州国訪問、関東軍南次郎司令官、溥儀と会見、帰途多倫で李守信と初会見

12月2日 大本四郎少佐が張家口特務機関長に就任

12月2日 羽山喜郎少佐が綏遠特務機関長に就任

12月7 - 13日 察東事件の勃発

12月末 察東警備軍、口北六県を接收

12月 関東軍、阿拉善、オチナに特務機関を設置

12月 笹目恒雄が西部内蒙古を踏察

1936年（成紀731年）

1月 関東軍参謀部が「対蒙（西北）施策要領」を作成

1月 関東軍第二課長河辺虎四郎，北平で呉鶴齡らと会談

1月 細木繁中佐が関東軍承德特務機関長に就任

1月22日 張北でチャハル盟公署が成立

1月25日 国民政府が「綏境蒙政会暫行組織大綱」を公布

1月 田中久が張北特務機関長に就任

2月10日 西スニト旗で蒙古軍総司令部が成立，総司令徳王，副総司令李守信。この年をジンキスカン731年と定める

2月21日 百靈廟保安隊の暴動，徳王に反逆し，傅作義に走る

2月23日 国民政府が綏遠で綏境蒙政会を設立，委員長沙王，指導長官閻錫山

2月 張家口日本人居留民会（500名）は発会

4月24日 ウジュムチン右旗で第一回蒙古大会が開く

4月28日 関東軍参謀部が「内蒙工作の現状に就いて」を作成

4月 西ウジュムチン特務機関が徳化に移し，田中久が徳化特務機関長に就任

4月 浅海喜久郎が張北特務機関長に就任

5月12日 徳化で蒙古軍政府が成立，主席雲王，総裁・蒙古軍総司令徳王

5月 百靈廟特務機関（機関長盛嶋角房）を開設

5月 デロワ活佛依託蒙古留学生4名が来日。チャハル盟長依託蒙古留学生2名が来日

5月 中国共産党蒙古工作委員会が成立，書記長高崗

6月 徳王が第二回満州国を訪問，満州国と相互援助条約を締結

6月 善隣協会の「内蒙古雪害義捐金募集」活動の募金は（朝日、東日後援）は37,000円を達成

7月26日 笹目恒雄が西寧にて捕らえられ，3ヶ月後釈放

7月30日 王道一軍が紅格爾図，土木爾台に侵攻，失敗

8月4日 蒙古軍・大漢義軍が紅格爾図に侵攻，失敗

8月 田中隆吉が徳化特務機関長に兼任

8月 依田四郎「蒙政に対する重点」を掲載（「善隣月報」）

8月 善隣協会の井上瑛理事長が第三回訪蒙

8月 桑原荒一郎が張北特務機関長に就任（8月に引揚）

9月 察東警備軍を，蒙古軍に改編

9月 善隣協会が「西スニト小学校」を開設

10月19日 満州航空株式会社，関東軍の命令により「臨時独立飛行隊編成派遣に関する命令及び指示」を出す

10月 善隣協会は徳化に「内蒙支部」を開設，「百靈廟班」を開設

11 - 12月 綏遠事件の勃発。関東軍から謀略部隊（王英）への工作費600万円を提供，満州航空独立義勇飛行隊13機，満鉄自動車隊150輛が参加

11月 善隣協会が「蒙古学」を創刊

12月6日 南京政府「日本軍の停止を要望」と声明

12月9日 シラムレン事件，王英部隊の旅団長石玉山らが反乱し，日本人顧問小浜氏善大佐ら二〇数人を射殺

12月12日 西安事件の勃発

12月17日 徳王，国民政府に停戦通電

1937年（成紀732年）

1月15日 蒙字新聞が発刊

1月 森岡臯大佐が徳化特務機関長に就任

2月 共産党によって組織した蒙古族赴延安参観団が延安へ

2月18日 中野正剛が衆議院にて，「内蒙民族を救護せよ」と講演

2月20日 杉山元陸相，衆議院予算総会にて「綏遠事件」について説明

3月1日 河崎思郎が徳化特務機関長に就任（8月に引揚）

3月 村田孜郎「綏東戦線と抗日の将来」を掲載（「善隣月報」）

- 4月 善隣協会「蒙古学」を創刊
- 4月 白鳥庫吉「世界史に於ける蒙古の地位」を掲載（「蒙古学」）
- 4月 善隣協会、外務省より3万円助成交付される
- 7月7日 盧溝橋事件の勃発
- 8月9日 関東軍、チャハル兵団を編成、チャハル作戦を開始
- 8月13日 関東軍司令部が「察哈爾方面政治工作緊急処理要綱」を作成
- 8月18日と21日 時局処理に関する東条関東軍参謀長と中央間往復電、関東軍が西部内モンゴル・晋北・察南の統合を目指す
- 8月27日 日蒙軍が張家口を占領
- 8月27日 吉岡安直大佐が張家口特務機関長に就任
- 8月28日 金井章二が政治工作班を率いて張家口に着く
- 8月 善隣協会が「厚和医院」、「包頭診療所」を開設
- 8月 国民政府軍事委員会がオチナ旗とアラシャン旗に専員弁事処を設置
- 9月4日 陸軍省（推察）が「察蒙処理要綱」を作成
- 9月4日 察南自治政府が成立、最高顧問金井章二、最高委員于品卿、杜運宇
- 9月14日 松井太久郎大佐が張家口特務機関長に就任
- 9月 羽山喜郎が大同特務機関長に就任
- 10月1日 関東軍司令部が「蒙疆方面政治工作指導要領」を作成、蒙疆政権樹立を立案
- 10月14日 桑原荒一郎が厚和特務機関長に就任
- 10月15日 晋北自治政府が成立、最高顧問前島昇、最高委員夏恭
- 10月25日 関東軍参謀長より張家口特務機関長宛「蒙古自治連盟施策に関する件」
- 10月27日 第二回蒙古大会が開かれ、雲王を政府主席として蒙古連盟自治政府が成立
- 11月2日 広田外相が内蒙古の自治、華北における非武装地帯と親日行政などの日本の平和条件を独大使に提示
- 11月20 - 22日 蒙疆連合委員会設定に際し蒙疆連合委員会と関東軍司令官との秘密交換公文を締結
- 11月21日 善隣協会が「厚和速成日本語学院」を開設
- 11月22日 蒙疆連合委員会が成立
- 11月27日 蒙疆銀行（総裁包悦卿、顧問山田茂二、資本金1200万円）を創立
- 12月3日 田中実が大同特務機関長に就任
- 12月7日 関東軍参謀長より軍務局長、総務部長宛「駐蒙兵団政略指導機関に関する件」
- 12月10日 関東軍参謀長より北支方面軍参謀長ら宛「蒙疆方面政治指導に関する件」
- 12月12日 高場損蔵大佐が蒙古軍軍事顧問に就任
- 12月14日 高場損蔵が厚和特務機関長に就任
- 12月28日 張家口にて駐蒙兵団が編成（司令官蓮沼蕃中将、参謀長石本寅三）
- 12月28日 関東軍司令官より陸軍大臣宛「察南晋北処理に関する件」
- 12月29日 関東軍司令官より陸軍大臣宛「蒙疆方面政治指導に関する件」
- 1938年（成紀733年）
- 1月1日 駐蒙兵団石本参謀長に対する東条関東軍参謀長が懇談
- 1月1日 金川耕作中佐が包頭特務機関長に就任（駐蒙軍の編成に伴う、特務機関の情報業務は関東軍に、政務業務は駐蒙軍の指揮を受け、機関長は両軍の支部長を兼任）
- 1月8日 駐蒙兵団を編成
- 1月14日 関東軍司令部が「北支蒙疆方面交通経営機関調整要領案」を作成
- 1月 杉森孝次郎「北那蒙疆訪記」を掲載（「改造」）
- 2月 蒙古軍軍事顧問部（長金川耕作中佐）が発足
- 2月 寧夏省主席馬鴻逵の軍隊はアラシャン旗に進入
- 2月 善隣協会井上璞一行が第四回訪蒙
- 3月22日 張家口領事館が大同出張所を開設
- 3月23日 蒙古連盟自治政府の首都は綏遠を厚和と改称

- 3月24日 雲王が死去
- 3月 保科広次「綏遠省教育接收記」を掲載（「善隣月報」）
- 4月1日 張家口領事館が厚和外出張所を開設
- 4月9日 張家口領事館が包頭分館を開設
- 4月 横山順が厚和特務機関長に就任
- 4月 中国共産党蒙古工作委員会が成立、書記長白如水
- 4月 馬鴻逵部隊がアラシャン旗に進攻、これから同旗を支配
- 4月 厚和日本人小学校を開校
- 4月 善隣協会が「張家口本部」を開設 6月より、井上璞理事長が張家口に常駐
- 5月20日 蒙疆における新聞通信の統制機関である株式会社蒙疆新聞社、張家口に発足、理事長松本於菟男、理事杉谷善蔵、柑運、孫植
- 5月 善隣協会は「回教圏研究所」を吸収
- 5月 国民政府、榆林で「蒙旗宣慰使公署」を設置（宣慰使沙玉兼）
- 6月14日 何春魁が満州国駐蒙疆代表に就任
- 6月 酒井隆少将が張家口特務機関長に就任
- 6月 察南政府は「都市計画法」を公布
- 7月1日 第三回蒙古大会で徳王を政府主席に推挙
- 7月4日 駐蒙軍司令部を編成（司令官蓮沼蕃中将、参謀長石本寅三）
- 7月5日 蒙疆石油公司を設立、石油配給管理令を公布
- 7月8日 蒙疆連合委員会、金融統制令を公布
- 7月8日 蒙疆運輸公司を設立
- 7月 察南学院が開校
- 7月 善隣協会医療機関の蒙疆政府に移管
- 7月 企画院・東亜問題研究会が「蒙古要覧」を作成
- 7月15日 蒙疆連合調査会（兵団参謀部調査班、在張総領事館、蒙疆連合委員会、蒙疆銀行、満鉄事務所など）が発足
- 7 - 8月 京城帝大・蒙疆學術探検隊、蒙疆にて踏査
- 7月30日 銅搬出取締令を公布
- 8月1日 蒙疆連合委員会改組、総務、産業、交通、金融の四委員会を廃止、新たに総務、産業、財政、交通、民生、保安の六部を設置。盟は四庁制を廃止、官房制度と民生、畜産、保安の三庁設置
- 8月1日 蒙古連盟自治政府政務院官制を公布
- 8月22日 蒙古連盟自治政府本年度施政方針を公布
- 8月 和加竹城、林田勲著「蒙疆の資源と経済」を上梓
- 8月 張家口放送局、本格放送を開始
- 8月 察南行政区画を改正（県境調整）
- 8月 鎮郷村制を革新
- 9月1日 八路軍大青山支隊 大青山に着く、ゲリラ作戦を展開、根拠地を設立
- 9月10日 蒙古連盟自治政府警察学校を開設
- 9月 蒙疆三自治政府の政府旗を公布
- 9月 包頭に日本会館を開設
- 10月10日 通貨取締令を公布
- 10月16日 蒙疆華北間に電話が開通
- 10月27日、張家口総領事館、結社集会取締規則を公布
- 10月 蒙古連盟自治政府地政審議會を設置
- 10月 徳王が第一回日本を訪問
- 10月 善隣協会が「蒙古大観」を編纂
- 11月4日 晋北政府が大同都市計画法案を採択
- 11月23日 晋北政府境内に古い紙幣大体両替が完成
- 11月 労働統制法大綱を公布
- 11月 察南全県下に日系の参政官配置が完成
- 12月10日 晋北が個人販売アヘンを多数押収
- 12月16日 興亜院を設置、総務長官柳川平助
- 12月 川上親輝「蒙疆政権は高度自治へ」を掲載（「外交時報」）
- 12月15日 西北回教連合会を結成
- 12月 善隣協会調査部は厚和に移す
- 1939年（成紀734年）
- 1月1日 張家口特別市制を実施（市長韓広森、参与官八重島政治）、万全県公署の行政管轄より離脱

- 1月10日 三毛逸が蒙古軍軍事顧問に就任  
 1月27日 蒙古学院第一期生卒業  
 1月31日 下永憲次が徳化特務機関長に就任  
 1月 善隣協会は「百靈廟小学校」を開設  
 1月 張家口日本「商業組合」を創設  
 2月5日 察南学院が開校  
 2月12日 田中新一が駐蒙軍参謀長に就任  
 2月21日 晋北仏教学院を設立  
 2月 傅作義が35軍を率いて五原に着く、第八戦区副司令長官部を設立  
 2月28日 蒙疆地域の共通法令、すべて「蒙疆連合委員会」で統制、元法律一部改正  
 2月 善隣協会「包頭回民診療所」を開設  
 3月9日 田古里直中佐が包頭特務機関長に就任  
 3月10日 張家口特務機関を廃止  
 3月11日 興亜院蒙疆連絡部を開設  
 3月20日 小倉達次が厚和特務機関長に就任  
 3月 国民政府蒙蔵委員会が「チンギスカン靈樞遷移弁法」を作成、7月に甘肅省榆中に移す  
 3月 中国共産党綏遠省委員会（12月に綏遠区委員会に改称）を設立、書記白如水  
 4月 厚和に「蒙古学院」を開設  
 4月16日 蒙古自治政府管内国有鉄道、華北交通株式会社に委託経営  
 4月29日 徳王が蒙疆連合委員会総務委員長に就任  
 4月29日 善隣協会「興亜塾」を開設、あと、「興亜義塾」と改称  
 4月 蒙古文官視察団37名が訪日  
 4月 「善隣協会調査月報」を「蒙古」に改題  
 5月1日 張家口総領事館、厚和領事館に各々昇格  
 4月18日 蒙疆畜産政策の大綱を確立  
 5月 世界一の雲母鉱、京包沿線から発見  
 5 - 9月 ノモンハン事件の勃発  
 6月1日 善隣協会「蒙古研究所」（所長白鳥庫吉）を創立  
 6月10日 蒙疆学院が開校  
 6月 張家口 東京間、無線電信を開設  
 6月 蒙古連盟自治政府最高顧問宇山兵士が満州国に帰任、泉名英が最高顧問に就任  
 6月 ジンキスカン靈樞をイクチョウ盟から甘肅へ移動中、延安で盛大な弔いをする  
 6月 矢野仁一「蒙古の過去と将来」を掲載（「東洋史研究」）  
 6月 蒙疆汽車公司、蒙疆銀行より独立  
 7月1日 蒙疆中央警察学校を設立  
 7月19日 厚和蒙古学院全学生、満州国を見学  
 7月21日 蒙疆土業股份有限公司包頭分公司を開業（「蒙疆新報」 民国28年7月21日）  
 7月26日 龍煙鉄鋳股份有限公司が成立（「蒙疆新報」 民国28年7月27日）  
 7月26日 察南最高首脳部、白竜王廟に神に祭る（「蒙疆新報」 民国28年7月27日）  
 7月 国民政府は榆林で「チャハル蒙旗特派員公署」を設置（特派員馬鶴天）  
 8月4日 日本閣議は「蒙疆統一政権設立要綱」を決定  
 8月29日 第四回蒙古大会で蒙疆三自治政府の合併を決議  
 9月1日 蒙古連合自治政府成立、最高顧問金井章二、主席徳王  
 9月12日 岡部直三郎が駐蒙軍司令官に就任  
 9月 綏遠省戦地動員委員会が成立、主任傅作義  
 10 - 12月 興亜院など政府機関、蒙疆鉱産資源を調査  
 10月 蒙疆朝鮮間貿易を開始  
 10月11日 貿易統制法を実施  
 10月23日 牧業総局が開廷式  
 10月26 - 28日 政庁盟次長参与官会議が開催  
 10月 「蒙古法人 善隣協会」を認可  
 11月10日 蒙疆物価委員会が結成  
 11月18日 大同県村落廃合計画を作成  
 11月21日 物資統制法を公布  
 11月 大同 靈丘・広靈間自動車路が完成  
 11月 張家口に滞在日本人10105名に達成  
 12月4日 蒙古政府逆産処理法を公布  
 12月9日 興亜院は大同、厚和、包頭に出張所を開設

12月20日 傅作義軍が包頭を襲撃  
 12月 厚和で「救国会」事件が起こる  
 12月 巴薩爾が蒙疆銀行総裁に就任  
 1940年（成紀735年）  
 1月1日 蒙疆に在留日本人：張家口15139名，大同6217名，厚和3293名，包頭1825名  
 1月23 - 26日 青島会議が開催  
 1月末 2月 第一次五原作戦。日蒙軍が2月3日五原，5日臨河，6日陝壩を占領  
 1月 張家口に善隣回民女塾を創立  
 2月 暫行官有財産法を公布  
 2月 鈴木美通が善隣協合理事長に就任  
 3月9日 竹下義晴中将が興亜院蒙疆連絡部長官に就任  
 3月20日 小倉達次が蒙古軍軍事顧問に就任  
 3月21日 傅作義軍が五原を襲撃  
 3月下旬 第二次五原作戦を発動  
 3月30日 汪兆銘南京国民政府が成立  
 3月 張北日本居留民会（287名）が発会  
 4月1日 常岡寛治中将蒙疆学院長に就任  
 4月9日 南京国民政府主席汪兆銘，張家口を視察  
 4月 張家口日本居留民団（井上璞団長）が発足  
 4月 長岡克暁「蒙疆北支の特殊性」を掲載（「蒙古」）  
 4月 善隣協会は張家口に「調査部」（部長後藤富男）が発足  
 5月21日 松尾勇太郎が徳化特務機関長に就任  
 5月 「蒙古善隣協会」（井上理事長）を創設，善隣協会蒙古現地事業を蒙古善隣協会に委譲  
 6月1日 蒙古政府駐日代表部は東京麻布に発足  
 6月1日 西スニト蒙古軍幼年学校を開設  
 7月8日 蒙疆政府政務院会議で「駐華弁事処官制」，「駐外代表部官制」を採択  
 7月11日 張家口天津間電話が直通  
 7月 中国中央西北工作委員会「關於抗戰中蒙古民族問題提綱」を採択  
 7月 日本人初め官旗章京に就任

7月 蒙疆政権の調査により，蒙疆総人口565万人，其の中華人86%，蒙古人10%。また，在留日本人4.5万人。  
 8月1日 高橋茂寿慶が駐蒙軍司令官に就任  
 8月1日 蒙疆青年興亜同盟が結成  
 8月10日 東亜懇談会が蒙疆本部を創立  
 8月 大青山根拠地綏西区武帰県小西梁村で綏遠敵占区各族各界各党派抗日力量代表会議が開かれ，晋綏第二邀撃区行政公署駐綏察弁事処を設立，主任姚喆  
 8月 小倉達次少将（厚和特務機関長）が蒙古軍最高顧問に就任  
 8 - 11月 農林科が宣化，陽高，康保，集寧に農村実態調査を実施  
 9月2日 蒙古俱樂部が発会式  
 9月2日 察盟は旗県接壤地帯土地整理調査を開始  
 9月2日 来年より地方税制改革を決定  
 9月4日 北白川宮永久王少佐が張家口で飛行事故死  
 9月6日 留日蒙古留学生後援会が結成  
 9月6日 アバカ特務機関を設立（機関長牧野正民）  
 9月29日 山脇正隆が駐蒙軍司令官に就任  
 9月30日 黄河調査蒙疆委員会を設立  
 9月 蒙疆政府企画統制委員会を設置  
 9月26日 晋北地区糧業連合会が成立  
 10月2日 蒙疆対日貿易計画方針を決定  
 10月2日 蒙疆糧穀総連合会が発会式  
 10月 阿片集荷順調，本年度輸出目標は500万両  
 10月 厚和に蒙古仏教学院を開設  
 11月 逢田英敏「烏盟東部に於ける漢人の蒙地進出状況」を掲載（「善隣協会調査部資料」）  
 12月2日 稲森利助が包頭特務機関長に就任  
 12月14日 張家口に市立日本語学校を設立  
 12月16日 厚和居留民会隣組制を実施  
 12月20日 蒙疆鉱産販売会社を創立  
 12月27日 蒙古平原緑化の大計画を樹立  
 12月 各旗に合作社（ホリシヤ）を開設  
 12月 改正地方税法を公布  
 12月 大同蔚県間路線バスが開通

- 12月 包頭 厚和間道路が完成
- 12月 善隣協会が「蒙古学報」を創刊  
1941年（成紀736年）
- 1月 徳王が民族制服を制定（「蒙疆新報」  
成紀736年1月3日）
- 1月4 31日 張家口市市村教職員を訓練  
（「蒙疆新報」 成紀736年1月8日）
- 1月8日 教育用図書審議会が開催（「蒙疆  
新報」 成紀736年1月9日）
- 1月 蒙古青年留学後援会が公開募金（「蒙  
疆新報」 成紀736年1月14日）
- 1月15日 南京政府首任駐日大使褚民誼が蒙  
疆を訪問
- 1月20日 甘粕重太郎が駐蒙軍司令官に就任
- 1月22日 日蒙軍がオールドス肅清作戦を開始  
「蒙疆新報」 成紀736年1月26日）
- 1月 蒙疆政府民政部教育図書審議会が本年  
度編纂目録を決定（「蒙疆新報」 成紀736年  
1月22日）
- 1月 大同石仏保存協賛会を設立
- 1月 張家口市区制を実施
- 1月 巴盟は旗制を改革
- 2月 巴盟は旗政審議会を設置（「蒙疆新報」  
成紀736年2月4日）
- 2月13日 蒙古善隣協会理事長，張家口居留  
民団長井上璞が死去 4月より，前川坦吉が  
代理理事長に就任（「蒙疆新報」 成紀736年  
2月14日）
- 2月14日 - 3月16日 徳王が第二回日本訪  
問，16日靖国、明治神社を参拝 18日天皇に  
会見
- 2月18日 蒙疆政府派遣第一回留日学生4名  
を決定
- 2月18日 日本軍は晋北での喬日成部を攻撃  
し，壊走させた（「蒙疆新報」 成紀736年2  
月20日）
- 2月20日 徳王，在日蒙古留学生を接見  
（「蒙疆新報」 成紀736年2月25日）
- 2月22日 蒙疆書道協会が成立（「蒙疆新報」  
成紀736年2月24日）
- 2月28日 春丁祭孔式典を開催（「蒙疆新報」  
成紀736年3月1日）
- 3月1日 鈴木重種が大同特務機関長に就任
- 3月1日 察南興亜推進会が成立
- 3月11日 八路軍連長が部下を率いて，日本  
軍に降参する（「蒙疆新報」 成紀736年3月  
15日）
- 3月13日 チャハル盟家畜輸出業者同業公会  
を結成
- 3月15日 徳王が東京帝国ホテルで記者会見
- 3月 駐蒙軍山脇正隆「状況報告」を作成
- 3月 蒙疆法人「蒙古善隣協会」（前山坦吉  
理事長）は善隣協会（鈴木美通理事長，東京）  
より分離
- 4月1日 懐安，万全両県合併
- 4月4日 東洋煙草股份公司新工場，張家口  
に竣工
- 4月8日 物動計画懇談会が結成
- 4月12日 察南政庁次長大園，第二回地方有  
力者座談会（教育関係）に出席し，『蒙疆教  
育者应有之使命』を講演する（「蒙疆新報」  
成紀736年4月21日）
- 4月15日 大青山根拠地綏察行政公署を設  
立，主任楊植霖
- 4月17日 蒙疆政府，太祖（チンキシカン）  
春季大祭を行う，休暇一日（「蒙疆新報」  
成紀736年4月17日）
- 4月18日 蒙疆政府機構を改革，従来の7部  
を全廃，総務部を総務庁に変わる，内政（元  
民政部と治安部），経済両部（元財政部と産  
業部），交通総局（交通部，郵電総局）に包  
攝，司法部を司法委員会に変わる，回教委員  
会，興蒙委員会新設，総力委員会を特設  
（「蒙疆新報」 成紀736年4月19日）
- 4月18日 徳王が満州国を訪問
- 4月18日 興蒙委員会（委員長松津旺楚克委  
員長，村谷彦治郎次長）が発足
- 4月20日 涿鹿県公署が農祭を取り戻す，式  
典を行う（「蒙疆新報」 成紀736年4月28日）
- 4月25日 靖国神社春季大祭，蒙疆全土遥拝  
する（「蒙疆新報」 成紀736年4月25日）
- 4月 西スニット蒙古女学校を創設
- 4月 蒙古人移動劇団を設立
- 4月 「内陸アジア」を創刊

- 4月 大嶋豊が善隣協会理事長に就任
- 5月1日 萬全、懷安兩県合併し、新たな萬安県開庁式を行う（「蒙疆新報」 成紀736年5月1日）
- 5月2日 賜児山娘娘廟会を行う（「蒙疆新報」 成紀736年5月3日）
- 5月4日 日本人居留民団長盛岡正平を決定（「蒙疆新報」 成紀736年5月6日）
- 5月11日 蒙疆政府「教令」を發表、太祖チンギスカン登極日は旧曆12月16日を「合於陰曆十二月一日之陽曆日」に変わる、ジンギスカン誕辰日を「合於陰曆四月十六日之陽曆日」に変わる、この日を祝日と定めると發表する（「蒙疆新報」 成紀736年5月11日）
- 5月21日 蒙疆新聞より、「武川一帶偽共亦被擊潰」（「蒙疆新報」 成紀736年5月21日）
- 5月22日 晋北清民会が成立（「蒙疆新報」 成紀739年5月31日）
- 5月24日 蒙疆各県、日ソ中立条約締結の祝い式典を行う（「蒙疆新報」 成紀736年5月25日）
- 5月 留学生後援会、厚和、伊盟で留日学生を選抜する（「蒙疆新報」 成紀736年5月25日、29日）
- 5月 蒙疆、満州国との物資交換ルート（多倫 平定堡）を復活
- 6月1日 蒙疆学院を中央学院に改称
- 6月1日 興蒙学院（旧蒙旗学校）が開校
- 6月1日 蒙古連合自治政府の機構改革。吳鶴齡が政務院長に就任（「蒙疆新報」 成紀736年5月31日）
- 6月1日 興蒙委員会委員長松王らが抱負を語る（「蒙疆新報」 成紀736年6月1日）
- 6月1日 伊藤祐が蒙古政府駐日代表に就任
- 6月2日 献納碎鉄運動を開始
- 6月3日 中華航空張家口 太原線開通、週3便（「蒙疆新報」 成紀736年6月1日）
- 6月3日 厚和、包頭で、そして首都（6日）で蒙疆回民がイラク「反英聖戦」後援大会を行う（「蒙疆新報」 成紀736年6月4日、6日、7日）
- 6月3日 宣化県、新鎮村制を編成し、鎮村長任命式を行う（「蒙疆新報」 成紀736年6月7日）
- 6月 鐘紡公大、「歌黎迪爾」牡羊1200匹（第1期420匹）張家口に運ぶ、羊毛を増産のため、牧民に貸与する（「蒙疆新報」 成紀736年6月5日）
- 6 8月 張家口鉄道局は各地の廟会を利用し、愛路宣伝を行う（「蒙疆新報」 成紀736年6月2日）
- 6月11 - 13日 蒙疆新報に『陽原鎮村新概況』（一～三）連載（「蒙疆新報」 成紀736年6月11～13日）
- 6月12日 察南政庁長が官張家口水母宮で雨乞い
- 6月16 17日 貝子廟会が盛大開催、徳王、金井章二が出席（「蒙疆新報」 成紀736年6月22日）
- 6月18日 察南地区警備司令部を編成（「蒙疆新報」 成紀736年6月18日）
- 6月20日 蒙疆政府地政会議が開催、地籍整理を決定（「蒙疆新報」 成紀736年6月20日）
- 6月20日 蒙疆新報に「街鎮制・鄉村制理由書及概要」を掲載（「蒙疆新報」 成紀736年6月20日）
- 6月21、22日 蒙疆新報に『街鎮制章則』（一、二）を連載、（「蒙疆新報」 成紀736年6月21、22日）
- 6月22、23日 蒙疆新報に『蒙疆道路建設之重要及方策』（上下）を連載（「蒙疆新報」 成紀736年6月22、23日）
- 6月25日 薩拉齊県官営農場が開場
- 6月26日 蒙疆新聞により、喬日成部壊走させる
- 6月 蒙古善隣協会「内陸アジア」を創刊
- 7月1日 街鎮制及び鄉村制を実施
- 7月1日 「百靈廟善隣青少年養成所」を開設
- 7月8日 蒙疆土建統制委員会が結成
- 7月12日 蒙疆満州会が結成（「蒙疆新報」 成紀736年7月13日）
- 7月18日 蒙疆回民教育促進会が厚和で発会
- 7月 巴旗蒙漢雜居地帯土地調査を開始

- 7月 蒙古文化研究所，新蒙古史の編纂計画に着手
- 7月 新小学校教科書を配給
- 7月 北京で「蒙疆会」を設立
- 7月 蒙古留学生後援会が成紀736年度留日学生募集弁法を公布（「蒙古」）
- 8月4日 蒙古自治邦が成立
- 8月7日 張家口にて，蒙疆中央総力委員会が結成
- 8月8日 イクチョウ盟副盟長阿坦鄂齊爾盟長に昇任祝賀会が開催
- 8月25日 ウランチャブ盟ラマ教徒訓練所に，ラマ教徒訓練を開始
- 9月9 - 10日 蒙疆全宗教大会が開催
- 9月15日 巴盟公署，蒙古文化を發揚するため，各地古跡を調査する（「蒙疆新報」 成紀736年9月15日）
- 9月18日 華北政務委員会王揖唐が蒙疆を訪問（「蒙疆新報」 成紀736年9月20日）
- 9月30日 第三回天主教大会が開催（「蒙疆新報」 成紀736年10月1日）
- 10月1日 「綏察行政公署施政綱領」を公布
- 10月2日 宣化 - 龐家堡鉄道が開通，龐家堡鉞開山式を行う
- 10月7日 第三回ラマ教大会が開催（「蒙疆新報」 成紀736年10月7日）
- 10月13日 巴盟孝子節婦表彰式を行う（「蒙疆新報」 成紀736年10月15日）
- 10月15日 蒙疆新聞により，巴盟四旗署機構を改革（「蒙疆新報」 成紀736年10月15日）
- 10月18 - 21日 靖国神社臨時大祭，首都張家口で遥拝式を行う（「蒙疆新報」 成紀736年10月19日）
- 10月20日 徳王，金井が，東条内閣成立に対する談話発表（「蒙疆新報」 成紀736年10月20日）
- 10月20日 「蒙疆邦人興亜協力会」が発会
- 10月20日 蒙古綿羊協会を設立
- 10月21日 稲村豊二郎が駐蒙軍參謀長に就任
- 10月22日 日華教育者教授法懇談会が開催（「蒙疆新報」 成紀736年10月23日）
- 10月 蒙疆新聞により，737年から疆内曆志，時憲書などを統制発行，統制令発表（「蒙疆新報」 成紀736年10月23日，30日）
- 10月27 - 28日 日蒙華經濟懇談会が北京で開かれる
- 10月29日 疆内漢民族による「親仁会」が結成（「蒙疆新報」 成紀736年10月30日）
- 10月 曆類統制令を公布
- 10月 蒙古軍軍事顧問部「挺身」を創刊
- 11月2日 蒙疆仏教会，紅卍字会巴盟支部が結成（「蒙疆新報」 成紀736年11月2日）
- 11月4日 蒙古ラマ教総会巴盟支部結成式を行う
- 11月8日 岩崎民男興亜院蒙疆連絡部長官に就任
- 11月10日 巴盟が化民劇団を創設
- 11月13日 大同は食塩配給制を開始
- 11月14 - 15日 日本語教育大会が開催
- 11月15日 厚和イスラム婦人会結成式を行う（「蒙疆新報」 成紀736年11月18日）
- 11月 巴盟公署，各県に「化民劇団」を組織すると命令を出す（「蒙疆新報」 成紀736年11月15日）
- 11月21日 蒙地最初の郵電局 貝子廟郵電局，シリ-ンゴル盟貝子廟に開局
- 11月21日 厚和清真寺望月楼竣工式典を行う（「蒙疆新報」 成紀736年11月24日）
- 11月 大同県公署，成紀737年よりすべての私塾を統合・改造し，公立簡易学校を設立する計画を立てる（「蒙疆新報」 成紀736年11月24日）
- 11月 巴盟公署，各宗教支部に政府幹部の顧問を任命する（「蒙疆新報」 成紀736年11月24日）
- 11月27日 大橋忠一が蒙疆政府最高顧問に就任，（「蒙疆新報」 成紀736年11月28日）
- 12月1 - 2日 興蒙委員会文教会議を開催，五年計画要綱を決定
- 12月8日 厚和・蒙古研究会（松崎陽，磐井文雄ら）が「興蒙推進要綱」を編纂
- 12月 興蒙委員会教育処が五年計画要綱を制定（「蒙疆新報」 成紀736年12月12日）
- 12月8日 太平洋戦争の勃発

- 12月11日 厚和放送局が開局
- 12月25 28日 蒙疆新報に『由蒙疆到世界736年の几件大事』連載（「蒙疆新報」成紀736年12月26, 26, 27, 28日）
- 12月26日 蒙疆キリスト教連合会が結成（「蒙疆新報」成紀736年12月27日）
- 12月27日 張家口警察局「物資搬出取締実施要則」を公布
- 12月20日 大橋忠一が張家口に到着，徳王と面会（「蒙疆新報」成紀736年12月21日）
- 12月23日 蒙疆仏教本部が結成（「蒙疆新報」成紀736年12月24日）
- 12月 蒙疆汽車（自動車）公司，ガソリンを節約のため，石炭自動車採用計画を立てる（「蒙疆新報」成紀736年12月24日）
- 1942年（成紀737年）
- 1月1日 巴盟が新郷鎮制を実施
- 1月12日 蒙古自治政府内の国有鉄道，華北交通株式会社に委託経営に正式調印
- 1月16日 第一回蒙旗小学校教員再教育講習会が修了
- 1月17日 徳王「興亜教書」を公表
- 1月17日（陰暦12月1日） 聖祖（チンギスカン）登極記念式典を行う
- 1月17日 興亜協会結成式を行う
- 1月 巴盟各旗ラマ教分会が結成（「蒙疆新報」成紀737年1月20日）
- 1月23日 蒙疆醸造工業協会発会式を行う
- 1月28日 西北回教連合会本部で回教民衆大会が開かれる
- 2月3日 察南機業進行組合結成式を行う
- 2月5日 中共晋西区委員会「関于綏遠工作的指示」を出し，ゲリラ戦争を堅持，武装勢力を隠れると指示
- 2月11日 大同放送局が開局
- 2月 晋北政庁，街村育成方案を決定（「蒙疆新報」成紀737年2月12日）
- 2月13日 臨時物資調整委員会が結成
- 2月16日 張家口日本商工会議所設立を決定
- 2月25日（政府機関の）回教委員会が開庁（委員長蔣輝若），蔣輝若談話発表（「蒙疆新報」成紀737年3月3日）
- 2月 特克希ト彦が駐日蒙古代表に就任
- 3月1日 蒙疆学院を「中央学院」に改称（院長黒岩義勝，3月11日着任）
- 3月2日 七田一郎が駐蒙軍司令官に就任
- 3月14日 日系官吏多数異動
- 3月17日 宗像久敬が蒙疆銀行総裁に就任（「蒙疆新報」成紀737年3月18日）
- 3月 包頭市大郷村制度を実行（「蒙疆新報」成紀737年3月20日）
- 3月25日 春丁祀孔を行う（「蒙疆新報」成紀737年3月26日）
- 3月 大同県は街村再編を決定（「蒙疆新報」成紀737年3月31日）
- 4月19日 徳王が満州国を訪問
- 4月19日 晋北イスラン婦人協会が結成
- 4月20日 蒙疆のラマ一行が日本視察を開始
- 4月21 - 26 徳王が第三回満州国を訪問（「蒙疆新報」成紀737年4月22日）
- 4月27日 蒙疆公司が大蒙公司与合併
- 5月5日 蒙疆政府は張家口でチンキスカン祭典を行う，興蒙委員会実業処長瑞永が「感想」を発表（「蒙疆新報」成紀737年5月6日）
- 5月5日 中共が延安でチンキスカン公祭大会を開く
- 5月8日 察南，晋北，蒙古三実業銀行合併，同和実業銀行が発足
- 5月10日 蒙疆各盟有力者訪日視察団が日本へ
- 5月12日 熱，察交易現地会議が開催
- 5月14日 西北回教連合会を伊斯蘭号飛行機献納のために募金を開始
- 5月28日 蒙疆政府が「華北留学生管理規程」を公布
- 5月 蒙古善隣協会が「大樹湾診療所」を開設
- 6月 蒙疆道教会が蒙古号飛行機献納のために募金を開始（「蒙疆新報」成紀737年6月1日）
- 6月1 3日 首都（張家口）商民が祈雨会を組織し，壇を設けて三日間祈祷する（「蒙疆新報」成紀737年5月28日）

- 6月2 - 3日 蒙鮮貿易懇談会が開催
- 6月4 - 6日 宣化で「祈雨酬神戯」を行う  
 (「蒙疆新報」 成紀737年6月11日)
- 6月13日 大東亜共栄圏共通語としての日本語を普及するために、日本語発表会が開催
- 6月20日 回教紳士会が結成
- 6月20日 蒙疆物価対策合同会議が開かれ、「要綱」を作成
- 6月22日 大同城隍廟会が東亜平和を祈禱行事を行う(「蒙疆新報」 成紀737年6月25日)
- 6月22日 厚和靖郷自衛隊が結成
- 6月24日 地方機構改革を決定
- 6月25日 首都「伊斯蘭婦女協会」が結成(「蒙疆新報」 成紀737年6月26日)
- 6月26日 第二次施政躍進運動成果報告会が開催
- 6月 大同石佛奉賛大会10日間行事の内容を決定(「蒙疆新報」 成紀737年6月28日)
- 6月 蒙古善隣協会調査部が「包頭分室」を開設
- 7月4日 蒙疆政府が「留華学生処理要綱」を公布(「蒙疆新報」 成紀737年7月4日)
- 7月7日 大同石佛奉賛大会が開催(「蒙疆新報」 成紀737年7月9日)
- 7月10日 蒙旗建設隊人事を決定(総監呉鶴齡、督弁松津旺楚克、本部は徳化に)
- 7月11日 日滿蒙華仏教座談会が開催
- 7月13日 五台山法会を開始(「蒙疆新報」 成紀737年7月22日)
- 7月15日 第八代「ノイン」呼図克図は錫盟西札蘭廟で正式推戴、三日間廟会、弘報宣伝隊を派遣(「蒙疆新報」 成紀737年7月15日)
- 7月15日 興蒙指導班を派遣(3か月間)
- 7月16日 紙配給統制協会を設置
- 7月16日 満州建国大学蒙疆班が蒙疆に見学(「蒙疆新報」 成紀737年7月15日)
- 7月16日 平北地区共産党軍が退却する(「蒙疆新報」 成紀737年7月18日)
- 7月 大同市街公所「靖郷青年隊」を組織(「蒙疆新報」 成紀737年7月19日)
- 7月25日 桑乾河ダムが通水(第一期工事完了)
- 7月27 - 28日 広島文理科大学長田清博士が張家口で「大東亜戦争之世界史意義」講演会を開催
- 7月 日本軍が大青山根拠地綏中區で掃討作戦を發動
- 7月 張家口 多倫貝子廟間定期航空路が開設
- 7月 蒙古研究所は張家口に移転
- 8月1日 張家口で李香蘭公演独唱映画会が開催(「蒙疆新報」 成紀737年7月30日)
- 8月4日 第五回蒙古大会で徳王を政府主席に再選
- 8月8日 厚和灘派整理委員会、顧問団、整理処結成式を行う(「蒙疆新報」 成紀737年8月11日)
- 8月13日 蒙鮮経済懇談会が開かれる
- 8月17日 交通訓練周、左側通行を実施
- 8月20日 蒙疆政府人事異動、盟公署参事官人事を強化(「蒙疆新報」 成紀737年8月21日)
- 8月28日 蒙疆基督教団を創立
- 8月 豊鎮新郷鎮制を実施(「蒙疆新報」 成紀737年8月27日)
- 8月 日本軍が中共の大青山根拠地綏南區で掃討作戦を展開、大青山根拠地の軍隊と党・行政機構は晋西北に移す
- 9月1日 第三次施政躍進運動を開始
- 9月1日 政府共済制度を実施
- 9月10日 蒙疆域内満州中央銀行巻と中国連合準備銀行巻の使用禁止
- 9月11日 秋丁祭孔式典が拡大、休暇1日
- 9月12日 厚和市公署と警察局合併(「蒙疆新報」 成紀737年9月15日)
- 9月12日 大同街警防団が結成(「蒙疆新報」 成紀737年9月11日)
- 9月16日 百靈廟に郵便局が開局
- 9月18日 察南宣撫班が出発
- 9月28 - 30日 北京で華蒙経済懇談会が開かれる
- 9月 蒙疆留学生在日本に行く(46名、その内訳蒙系27名内官費生7名、興亜院給費生15名、留日学生後援会給費生5名。漢回系19名)

内官費生 8 名，興亜院給費生10名，自費生 1 名)  
 9 月 蒙古善隣協会は「ペーリン・ラマ青年学校」を開設  
 10月10日 財政部令により、疆内木材，セメント，漢方薬輸出制限  
 10月15日 巴盟の地籍調査を開始  
 10月16日 日本靖国神社祭，疆内機関，学校蒙疆神社へ参拝  
 10月20日 蒙疆日本人興亜協力総会が結成  
 10月 日本軍が大青山根拠地綏西区で掃討作戦，中共綏察辺区委員会と雁北区委員会と統合，塞北区工作委員会を設立  
 11月 1 日 「大東亜省」が発足，拓殖が省廃止  
 11月 1 日 大東亜省張家口大使館を開設，事務所長・特命全権公使岩崎民男  
 11月 2 日 軽工業組合が結成  
 11月 3 日 汪兆銘夫人陳璧君が大同雲岡観光（「蒙疆新報」 成紀737年11月10日）  
 11月 4 日 隣組奉公会が結成  
 11月 巴盟境内天主教徒5万余人と発表（「蒙疆新報」 成紀737年11月12日）  
 11月15日 蒙疆興亜同志会が結成  
 11月25日 蒙古文化生計会が発足  
 11月26日 首都（張家口）保甲制「甲之規約」を公布（「蒙疆新報」 成紀737年11月26日）  
 11月27日 第一回蒙古仏教懇談会が開催  
 12月 1 日 矢野正雄が駐蒙軍参謀長に就任  
 12月 2 日 興亜経済同盟が発足  
 12月19日 中央医学院が発足  
 12月21日 政府官制多く修正（「蒙疆新報」 成紀737年12月23日）  
 12月21日 蒙疆学院などの官制を修正  
 12月22日 新任經濟部次長杉村正が張家口に着く  
 12月24日 興蒙青少年団が発足  
 12月26日 興亜文化同盟が発足  
 12月 興蒙委員会が蒙旗へ指導班を派遣  
 1943年（成紀738年）  
 1月 1 日 蒙疆政府地方人事異動，蒙疆政府

第二次人事異動

1月 1 日 宣化，大同省制を実施，両省が開庁  
 1月 1 日 張家口特別市機構を改革  
 1月 1 日 張家口市署人事異動（「蒙疆新報」 成紀738年 1月28日）  
 1月 6 日 太祖チンギスカン登極記念日式典を行う，休日一日（「蒙疆新報」 成紀738年 1月7日）  
 1月11日 蒙疆日本配給組合連合会が発足  
 1月12日 大同薬草統制組合が結成  
 1月16日 察南薬材組合が結成  
 1月17日 徳王が「興亜教書」を公表  
 1月25日 蒙疆銀行機構を改革  
 1月26日 興蒙学院が拡充  
 1月 東京に民族研究所（文部省直轄）を設置  
 2月18日 首都高等学院の設立を決定  
 2月24日 第一回蒙疆興亜経済同盟懇談会が開催  
 2月26日 善隣協会大嶋理事長が訪蒙  
 2月 張家口日本仏教団が発足  
 2月 亜欧横断鉄道調査準備を開始  
 2月 映画「成紀七百三十七年」を完成  
 3月 「模範村視察記 - 沙城鎮」を掲載（「蒙疆新報」 成紀738年 3月9日）  
 3月16日 中亜鉄道調査会が発会  
 3月17日 察盟ホリシヤ事業を決定  
 3月19日 興蒙文教会議，ラマ問題解決策を実施  
 3月21日 在蒙疆敵国人（米英白蘭の宣教師，医師，看護婦，修道女など）194名を退去，山東濰県に収容  
 3月22日 張家口鉄道局愛護村で留日生を選考  
 3月24日 雲王死去五周年祭典を行う  
 3月24日 西北回教連合会本部支部長会議が開催  
 3月25日 盟省特別市長会議が開催  
 3月25日 第二次蒙古ラマ訪日団が日本へ  
 3月 蒋介石「中国之命運」を発表  
 3月 中華航空，張家口 多倫 貝子廟 西

ウチムチンと張家口 徳化 西スニト空路を  
設置

- 3 - 5月 伊盟事件の勃発
- 4月1日 張家口総領事館大同出張所より、  
大同領事館に昇格
- 4月1日 「大同清真女塾」を開設
- 4月17日 蒙旗工程班が出発
- 4月19日 蒙疆銀行保有の日本国債1億円に  
達する
- 4月25日 成吉思汗春季大祭を行う
- 4月 金井章二「滿蒙行政瑣談」を上梓
- 4月 蒙旗模範中心村を決定
- 4月 厚和大車公会を整備
- 5月1日 貿易統制法を改正
- 5月1日 敵産十五教会の物件を岩崎公使よ  
り蒙疆政府に交付
- 5月6 - 8日 第四回興蒙委員会会議 暫行  
旗課金規則準則を決定
- 5月8日 日本より、1億元信用借与、東京  
で調印(「蒙疆新報」 成紀738年5月9日)
- 5月11日 第二回蒙古仏教復興会議が開催、  
実施要綱案を決定
- 5月15日 蒙古生計会議が開催
- 5月18日 律師法が成立
- 5月19日 太祖チングスカン誕生日記念式典  
を行う
- 5月20日 ラマ印務処を設立(「蒙疆新報」  
成紀738年5月20日)
- 5月24日 喇嘛授産部規定を制定
- 5月28日 上月良夫が駐蒙軍司令官に就任
- 5月31日 日系中小工業向けの首都信用組  
合創立総会が開催
- 6月10日 律師公会が発足
- 6月13日 国民政府系の遊撃隊司令の李培基  
ら350名が蒙疆政府に帰順
- 6月19日 四税(物品、出産、牲畜、四種統  
税)法改正案を公布
- 6月24日 蒙疆銀行は満州中央銀行に対して  
年間600万圓を限度とする信用を供与する
- 6月25日 蒙古仏教復興会議が厚和で開催  
(「蒙疆新報」 成紀738年6月26日)
- 6月28日 「重要産業統制」及び「国防資源

統制令」を公布(「蒙疆新報」 成紀738年6  
月29日)

- 6月29日 蒙疆天主教大会が開催 7月2  
日、蒙疆天主教団が結成(「蒙疆新報」 成  
紀738年6月29日)
- 6月 巴盟、蒙古仏教復興方策「実施要領」  
を公布(「蒙疆新報」 成紀738年6月29日)
- 6月 桑乾河ダムを完成
- 7月1日 暫行旗官制を制定、公布(「蒙疆  
新報」 成紀738年7月1日)
- 7月1日 ラマ印務処章程を公布(「蒙疆新  
報」 成紀738年7月1日)
- 7月10日 宣化省農事合作連合会が発会
- 7月16日 ラマ出家規程を公布、8月1日よ  
り実施(「蒙疆新報」 成紀738年7月16日)
- 7月19日 宣化省省長異動発表、元省長陳玉  
銘が参議府参議に特認、元民政処長張煥瀛が  
省長に就任
- 7月24 - 25日 蒙古文化人決戦大会が開催  
(「蒙疆新報」 成紀738年7月27日)
- 7月 宣化製紙工場第一期工事を開始
- 7月 蒙旗実態調査を実施
- 7月 八路軍の武装工作隊が綏南、綏中に戻  
る
- 7月 和林県が纏足の解放を命令
- 8月1日 特別市及び市県官制を改正
- 8月1日 張家口油酒同業組合が結成
- 8月1日 蒙疆仏教会第一回道場開設式典を  
行う(「蒙疆新報」 成紀738年8月3日)
- 8月3日 駐蒙軍司令部に「情報部」を編成  
(部長・張家口支部長 矢野正雄少将)
- 8月3日 永井浩一が徳化特務機関長に就任
- 8月14日 蒙疆政府人事異動、参事官、課長  
51名(「蒙疆新報」 成紀738年9月2日)
- 8月16日 蒙疆政府機構を改革、官制を改正
- 8月 厚和農事合作社事業方針を公布(「蒙  
疆新報」 成紀738年8月24日)
- 8月27日 青木大東亜省大臣が蒙疆に訪問  
(「蒙疆新報」 成紀738年8月28日)
- 8月 蒙古風の電化調査を実施
- 9月 巴盟ラマ教仏教支部が大同雲岡石佛奉  
讃大法会に参加(「蒙疆新報」 成紀738年9

- 月6日)
- 9月15日 興亜協力が改組
- 9月 蒙古軍が政府内に連絡部を設ける(「蒙疆新報」 成紀738年9月16日)
- 9月17日 米(大米)自由売買禁止要綱を公布(「蒙疆新報」 成紀738年9月17日)
- 9月18日 巴盟孝子、節婦表彰式を行う
- 9月25 - 27日 北嶽恒山奉賛大会が開かれる
- 9月30日 蒙古皮毛公司を設立
- 9月 第三回全蒙体育大会、疆内でコレラ発見ので本年度中止
- 10月1日 政府参議陳玉銘が定期帰滿(滿州国総務庁参事官就任)(「蒙疆新報」 成紀738年10月31日)
- 10月 萬安県施政審議会が開催、施政計画を決定(「蒙疆新報」 成紀738年10月3日)
- 10月 大同県、視学委員会を設ける、教育革新計画を決定(「蒙疆新報」 成紀738年10月9日)
- 10月 大同市、街公所週間行事を制定する(「蒙疆新報」 成紀738年10月13日)
- 10月20日 蒙疆仏教会蓮社同盟運動を展開(「蒙疆新報」 成紀738年10月15日)
- 10月 蒙疆政府弘報科『蒙古史略』(仮称)編纂計画を制定する(「蒙疆新報」 成紀738年10月20日)
- 10月 厚和市公署は雑谷集荷辦法を公布(「蒙疆新報」 成紀738年10月20日)
- 10月 巴盟孝子節婦表彰式を行う(「蒙疆新報」 成紀738年10月20日)
- 10月23 - 25日 北嶽恒山奉讚大祭を行う(「蒙疆新報」 成紀738年10月22日)
- 10月 蒙疆銀行と横浜正金銀行間特別圓勘定に協定
- 10月 大同豚肉同業組合が結成(「蒙疆新報」 成紀738年10月24日)
- 10月 蒙疆新報に、『回民園地』コラムを設ける(「蒙疆新報」 成紀738年10月27日)
- 11月1日 張家口水害復興資金貸款委員会が発足
- 11月1 - 30日 厚和市署は愛路運動を実施、愛路計画を制定する(「蒙疆新報」 成紀738年11月10日)
- 11月5日 包頭市「日用品調整販売法」を公布(「蒙疆新報」 成紀738年11月5日)
- 11月6日 日本大東亜省の援助で、回民女性丁瑞蘭、王淑雯が日本へ留学(「蒙疆新報」 成紀738年11月7日)
- 11月8日 第五回興蒙委員会会議が開催(「蒙疆新報」 成紀738年11月9日)
- 11月8日 第二回全蒙美術展が除幕
- 11月11日 張家口郵電局新ビルが完成(「蒙疆新報」 成紀738年11月11日)
- 11月11日 蒙古高等学院(元留日予備校)開院式典を行う(「蒙疆新報」 成紀738年11月12日)
- 11月16日 大木義雄(元滿州国北安省開拓庁長)が蒙疆政府総務庁次長に就任
- 11月17日 蒙疆新聞に、『蒙古史略纂修方針』を掲載(「蒙疆新報」 成紀738年11月17日)
- 11月20日 厚和市署は郷鎮職員守則を制定(「蒙疆新報」 成紀738年11月20日)
- 11月23 - 24日 実業処処長会議が開催
- 11月25日 旗顧問懇談会が開催
- 11月26日 張家口市「隣保組織要綱」を公布(「蒙疆新報」 成紀738年11月26日)
- 11月28日 蒙疆政府機構を改革、興蒙委員会除く部制採用、産業部新設、財務を集中
- 12月3日 「蒙疆新聞」経済部長田汝弼談話「大東亜戦争と蒙疆経済開発」を掲載
- 12月14日 張家口大使館機構縮小を改革
- 12月14 - 15日 烏盟旗長会議が開催
- 12月15日 回教西北総監部が包頭で発会(西北回教連合会解消),(総監蔣輝若)(「蒙疆新報」 成紀738年12月14日)
- 12月21日 蒙疆民生会会則改正案を採択(「蒙疆新報」 成紀738年12月25日)
- 12月25日 1944年度渾源県「教育刷新要綱」を公布、義務教育、私塾を取締る(「蒙疆新報」 成紀738年12月25日)
- 12月27日 産業部官制を決定
- 12月 東亜経済懇談会蒙疆専門委員会を設置
- 12月 厚和市農事合作社を設立
- 12月 清水河護岸が竣工

- 12月 大青山炭鋳股份有限公司を解散，政府特殊会社として大青山炭鋳株式会社を設立
- 12月 蒙疆政府弘報科と華北電映合作『回教徒』を封切り
- 1944年（成紀739年）
- 1月1日 蒙古連合自治政府の機構を改革産業部が発足，現地系を起用（「蒙疆新報」成紀739年1月8日）
- 1月8日 張家口特別市日本語教育研究会が発会式
- 1月 大同県，本年度教育推進計画方針を公布（「蒙疆新報」成紀739年1月15日）
- 1月 懐来県，職員訓練要綱を制定する（「蒙疆新報」成紀739年1月19日）
- 1月20日 蒙疆回教連合会が発会（会長曹英）（「蒙疆新報」成紀739年1月20日）
- 1月21 - 22日 厚和で，西北民族（蒙，回）祭を行う（「蒙疆新報」成紀739年1月22日）
- 1月23日 蒙疆回教連合会会則を公布（「蒙疆新報」成紀739年1月23日）
- 1月25日 疆内日本人7項目を蒙疆政府に移譲（「蒙疆新報」成紀739年1月28日）
- 1月31日 省盟治安処長会議が開催
- 2月3日 蒙疆新聞により，本年度満州国に留学生を派遣（「蒙疆新報」成紀739年2月3日）
- 2月10日 産業部長田汝弼が死去，後任は内政部長丁其昌が兼務（「蒙疆新報」成紀739年2月13日）
- 2月11日 蒙疆政府弘報科長陶克托胡が日本「紀元節之意義」と放送講演（「蒙疆新報」成紀739年2月22日）
- 2月17日 蒙疆滞在日本人生活必需物資臨時配給統制を実施
- 2月17 - 19 地方長官会議が開催
- 2月18日 緊急経済開発推進本部設立要綱を公布（「蒙疆新報」成紀739年2月18日）
- 2月 本年度蒙旗建設計画を制定，模範中心村を建設，教育施設を重点（「蒙疆新報」成紀739年2月23日）
- 2月26 - 29日 蒙疆新聞に「溝通中日文化留日学生現況」を掲載
- 3月1日 湯野川竜郎が蒙古軍軍事顧問に就任
- 3月1日 田中良武が包頭特務機関長に就任
- 3月1日 糧穀管理令を改正，一部が緩和（4月1日より実施）
- 3月1日 大同省興農煉成所を設置（「蒙疆新報」成紀739年2月29日）
- 3月4日 蒙疆新聞により，弘報課長春丁祀孔談話「欲完成興蒙興亜大業非尊崇儒教不可」（「蒙疆新報」成紀739年3月4日）
- 3月6日 現行土業組合制度を廃止，特殊法人蒙古特産股份有限公司を設立
- 3月7日 宣化省特産処開庁式を行う
- 3月8日 物価騰貴抑制要項を発表（「蒙疆新報」成紀739年3月9日）
- 3月9日 軽工業振興本部が設置
- 3月10日 興蒙委員会会議が開催
- 3月10日 暫行防護治安法を実施
- 3月13日 文書君が宣化省長に就任
- 3月20日 労務調整規則を公布
- 3月25日 張家口市警察署，人力車（洋車）乗車賃を改正（「蒙疆新報」成紀739年3月24日）
- 3月 蒙古善隣協会を「蒙古善隣調査所」（中沢達喜理事長）と改称，蒙疆政府の指揮下に
- 3月 大山驥夫が厚和特務機関長に就任
- 3月 炭工開発本部を創立 本部長大木義雄（産業部次長）
- 3月 増産三本部（農産物増産並菟荷対策本部，労務対策本部，畜産物増産並菟荷対策分科会本部）が発足
- 4月1日 華北交通株式会社運賃を調整，値上げ（「蒙疆新報」成紀739年3月28日）
- 4月1日 物資調整委員会法，蒙古生活必需品輸入公社法を公布
- 4月1日 首都（張家口）内行政区併合（21区 11区），また，政府機関毎月第1，3日曜日も執務（「蒙疆新報」成紀739年4月1日）
- 4月1日 煙草統制会法を公布 煙草配給機構整備要綱を公布
- 4月 大同県第五回施政躍進運動方針指導要

- 網を公布(「蒙疆新報」 成紀739年4月3日)
- 4月10日 蒙古特産股份有限公司が成立(「蒙疆新報」 成紀739年4月11日)
- 4月13日 成吉思汗春季大祭を行い、大祭式序が定式に
- 4月14日 張家口特別市勤勞奉公協力規程を公布(「蒙疆新報」 成紀739年4月14日)
- 4月14日 大東亜省次官山本が蒙疆へ(「蒙疆新報」 成紀739年4月26日)
- 4月16日 蒙疆新聞より、「崇礼県共軍受致命創」を掲載
- 4月17日 紅卍字会全蒙大会が開かれる
- 4月18日 愛路節の日、張家口鉄道愛路優良村民を表彰(蒙疆新報 成紀739年4月19日)
- 4月21日 森一郎が宣化省次長に就任
- 4月 蒙古政府主席徳王、日本で治療滞在する汪兆銘主席に見舞電報を打電(「蒙疆新報」成紀739年4月25日)
- 4月 經濟開發總本部が発足 總本部長武内哲夫(総務庁長)
- 4月 滿蒙間人事交流申し合わせ、成立
- 4月 獸毛皮業者が指定
- 5月1日 蒙疆仏教会本年度第一期仏教道場を行う(「蒙疆新報」 成紀739年5月3日)
- 5月1日 県参事官大異動(「蒙疆新報」成紀739年5月11日)
- 5月1 - 2日 大同県街村長会議が開催、隣保組織編成実施要領を制定する(「蒙疆新報」成紀739年5月10日)
- 5月 多倫東廟ラマ貢齋格思丹が日本高野山に修行3年間終了(「蒙疆新報」成紀739年5月11日)
- 5月9日 桑乾河灌溉が起工
- 5月10日 蒙滿間の資源開発に協定
- 5月12日 防衛法を公布 防衛總本部が発足(「蒙疆新報」 成紀739年5月12日)
- 5月16日 蒙疆政府弘報科長陶克托胡、回教阿衡講習会で講演『本邦肇建之理念』(「蒙疆新報」 成紀739年5月17日)
- 5月18日 回教徒指導連絡会議が開催
- 5月25日 蒙古教育会(1939年設立)新たな財団法人蒙古教育会として再発足
- 5月30日 「貨幣法」が可決
- 5月 金融対策委員会を設立
- 6月1日 蒙疆政府文教科は邦民体操日を規定(「蒙疆新報」 成紀739年5月25日)
- 6月3日 麻類全種に収買統制
- 6月9日 煙草統制会が発足
- 6月 蒙疆政府徳主席の命令で、トモト旗から100名児童を選ぶ、純モンゴル地帯に移す、モンゴル語教育を受けさせる(「蒙疆新報」成紀739年6月9日)
- 6月10日 生産必需品輸入公社創立総会が開催
- 6月15 - 16日 第5回大陸連絡会議、張家口で開催、日滿蒙華代表が出席(「蒙疆新報」成紀739年6月20日)
- 6月 興蒙委員会蒙旗建設第一期成果を発表、教育衛生等施設を普及(「蒙疆新報」成紀739年6月17日)
- 6月18日 厚和居留民団、皇民大会が開催(「蒙疆新報」 成紀739年6月21日)
- 6月20日 疆内初めての烏盟中心オボを造成
- 6月 宣化県、踏査班を派遣し、土地台帳を制定(「蒙疆新報」 成紀739年6月23日)
- 6月 薩拉齊県農事合作社が結成
- 6月 善隣協會留学生部を「特設留学生部」と改称
- 6月29日 大同省配給組合理本部成立、配給体制を強化(「蒙疆新報」 成紀739年6月28日)
- 7月 厚和市厚和鎮鎮長、布告を公布し、配給に関する甲牌長の汚職を禁止(「蒙疆新報」成紀739年7月7日)
- 7月8日 竹原潔がアバカ特務機関長に就任
- 7月8日 首都張家口、月間牌例会の日、出席しなかった者に配給停止(「蒙疆新報」成紀739年7月8日)
- 7月13日 蒙古馬事協会が設立
- 7月13日 蒙疆回教連合会懇談会が開催
- 7月 蔚県が地籍整理を実施(「蒙疆新報」成紀739年7月14日)
- 7月14日 回民撃滅美英祈願大会が開催
- 7月14日 蒙古運輸公司法を公布
- 7月 蒙疆政府、実業教育を重視し、学生動

員体制を整備（「蒙疆新報」 成紀739年7月15日）

7月15日 張家口大使館岩崎民男が転出，所長代理は大使館調査官山本吉郎

7月15日 包頭軽工業組合が発足

7月15日 天主教懇談会が開催

7月18日 杉谷秀之助が張家口特別市次長退官，後任片岡三郎

7月20日 張家口で回民教員練成会を開催（「蒙疆新報」 成紀739年7月19日）

7月24日 蒙古防衛体制強化，各盟長副盟長を師長，副師長に任命（「蒙疆新報」 成紀739年7月25日）

7月24日 烏盟毛皮供出懇談会が開催

7月29日 蒙疆政府総務庁長官武内退官

7月 花園炭鉱閉鎖，機材施設及び人は大同炭鉱に移す

春 西北研究所開設（長今西錦司）

8月1日 蒙古運輸会社が発足

8月1日 八里知道が張家口大使館事務所長・特命全権公使に就任（「蒙疆新報」 成紀739年8月2日）

8月3日 建邦三周年記念式典を行う

8月4日 蒙疆政府政務院訓令，主席の命令によって，蒙古官民の散髪，蒙漢回民女子のピアス，漢回民女子の纏足などを禁止（「蒙疆新報」 成紀739年8月5日）

8月7日 大同太寧觀三清殿金装，竣工（「蒙疆新報」 成紀739年8月11日）

8月8日 高浦儀作が徳化特務機関長に就任

8月9日 大同省宗教家代表大会が開催（「蒙疆新報」 成紀739年8月11日）

8月12日 晋劇名優郭蘭英が張家口で公演（「蒙疆新報」 成紀739年8月12日）

8月19日 回教連合張家口支部敬老会が開かれる（「蒙疆新報」 成紀739年8月19日）

8月23日 ホシリア助成会及び蒙古薬局を設立

8月 蒙古豪立希亜助成会設立要綱・蒙古薬局設立要綱を公布（「蒙疆新報」 成紀739年8月26日）

8月 善隣協会「蒙古」を廃刊（通巻146号）

9月1日 蒙疆政府統合記念式典を行う

9月1日 蒙古軍は，蒙疆政府内に設置した連絡部（1943年9月設置）を廃止，新たな兵務部を政府内に常駐（「蒙疆新報」 成紀739年9月2日）

9月10日 天主教司鐸練成大会が開催（「蒙疆新報」 成紀739年9月12日）

9月13日 蒙古鉱産統制会社法を公布（「蒙疆新報」 成紀739年9月15日）

9月16日 蒙疆新聞によれば，各地献銅運動を展開

9月20日 伊盟配給組合が結成（「蒙疆新報」 成紀739年10月4日）

9月23日 戦意昂揚蒙古芸能大会が開催（「蒙疆新報」 成紀739年9月23日）

9月25日 蒙古科学院を創立，首任院長野田清一（旅順工科大学名誉教授）（「蒙疆新報」 成紀739年9月25日）

9月28日 野村茂が厚和特務機関長に就任

10月4日 首都感謝皇軍運動，聖跡及び皇軍歩哨に敬礼を励行

10月8日 大東亜省竹内次官が張家口を訪問（「蒙疆新報」 成紀739年10月10日）

10月8日 満州国興安省王爺廟にチンギスカン廟落成式典，蒙疆代表も参加

10月15日 冬季野菜供給のため，野菜を蒙古食料公司によって統制収買

10月 烏盟盟長林沁價格，蒙疆政府参議府参議に就任，後任盟長はサラバ多爾濟（「蒙疆新報」 成紀739年10月17日）

10月26日 蒙疆政府弘報科 演劇座談会開催，日本演劇協会から専門家を派遣（「蒙疆新報」 成紀739年10月27日）

10月26日 中川留雄が駐蒙軍参謀長に就任

10月26日 中川留雄が駐蒙軍情報部張家口支部長に就任

10月27日 張家口野菜配給，購買票で購入（「蒙疆新報」 成紀739年10月27日）

10月27，11月1日 天主教宣化神父『本邦天主教之使命』（上下）を発表（「蒙疆新報」 成紀739年10月27日，11月1日）

10月30日 神吉正一が蒙疆政府総務庁長に任

命（「蒙疆新報」 成紀739年10月29日）  
 11月9 - 11日 市治安処保安股は張家口交通訓練期間を実施（「蒙疆新報」 成紀739年11月9日）  
 11月18日 張家口特別市農祭式典を行う  
 11月21日 獸骨収買統制令を公布  
 11月21日 首都各宗教団体，食糧出荷督励班を組織（「蒙疆新報」 成紀739年11月22日）  
 11月23日 根本博が駐蒙軍司令官に就任  
 11月 烏盟建設委員会を設置  
 12月1日 貯金増強月運動を開始  
 12月11日 厚和市公署，各宗教団体を召集し，集穀協力と呼びかけ（「蒙疆新報」成紀739年12月14日）  
 12月13日 厚和撃滅美英学生雄弁会が開催  
 12月18日 首都で日蒙親和を促進するため，善隣週間を開始（「蒙疆新報」 成紀739年12月17日）  
 12月22日 蒙疆新報に『提高牌長素質』を掲載（「蒙疆新報」 成紀739年12月22日）  
 12月25日 第五次語学検定を実施，日本語合格者287名  
 1945年（成紀740年）  
 1月1日 政府重要人事を発表，産業部長杜運宇，張家口特別市長崔景嵐（「蒙疆新報」成紀740年1月1日）  
 1月2日 大同文廟修繕工事が竣工（「蒙疆新報」 成紀740年1月2日）  
 1月8日 参事官人事異動を発表（「蒙疆新報」 成紀740年1月9日）  
 1月 首都敬天会会員は増産に協力（「蒙疆新報」 成紀740年1月9日）  
 1月 中共中央は陝甘寧辺区連防軍騎兵旅と晋綏軍区27団を大青山へ北上と決定  
 2月4日 斉藤鐘三大佐が関東軍承德特務機関長に就任  
 2月 中共中央は綏蒙区委員会設立を決定，書記高克林  
 4月1日 蒙古善隣研究所が解散，蒙疆政府に吸収  
 4月 張家口に「蒙古総合大学」設立委員会が発足

5月 八路軍が察南戦役を発動  
 7月 幽経虎嵩大尉が徳化特務機関長に就任  
 7月 綏蒙政府を設立，主席烏蘭夫  
 8月9日 ソ連・外蒙連合軍は内蒙古に侵攻  
 8月16日 徳王，李守信が根本博駐蒙軍司令官と会談  
 8月18日，八路軍が帰綏克復戦役失敗  
 8月19日 徳王が北平に行く  
 9月9日 西スニト旗で内蒙古人民共和国臨時政府が成立  
 9月10日 徳王が重慶で蒋介石と会見  
 10月 烏蘭夫らが西スニト旗へ内蒙古人民共和国臨時政府を改造，後張北に移す，解散  
 11月26日 張家口で内蒙古自治運動連合会が成立，執行委員会主席兼常務委員会主席烏蘭夫

参考文献：

（日本語）善隣協会編『善隣協会調査月報』昭和11年6月号 - 昭和14年3月号。善隣協会編『蒙古』昭和14年4月号 - 昭和19年10月号。外交資料館蔵『滿蒙政況関係雑纂・内蒙古関係』第1 - 5巻。島田俊彦，稲葉正夫他解説『現代史資料・日中戦争』（1） - （5）みすず書房 1964 - 1966年。日本近代史料研究会編『日本陸海軍の制度・組織・人事』東京大学出版会 1971年。外務省編『日本外交年表 竝主要文書』上下 日本国際連合協会 1955年。察南政庁編『察南自治政府史』昭和16年。蒙疆新聞社編『蒙疆年鑑』昭和14 - 19年度。晋北政庁編『晋北彙覽』成紀737年（1942年）。東洋協会調査部編『最近の内蒙古事情』非売品 昭和11年1月。善隣会編『善隣協会史 内蒙古に於ける文化活動』非売品 昭和56年7月。内田勇一郎『内蒙古における独立運動』朝日新聞西部本社編集出版センター 昭和59年10月。森久男編著『徳王の研究』創土社 2000年5月。宮脇淳子著『モンゴルの歴史 遊牧民の誕生からモンゴル国まで』刀水書店 2002年9月。内田知行・柴田善雅編『日本の蒙疆占領 1937 - 1945』研文出版 2007年2月。（中国語）蒙疆新聞社編『蒙疆

新報』1938年11月22日 1945年1月9日。蒙  
藏委員会編『蒙藏旬刊』第2 26期。蒙藏月  
刊社編『蒙藏月刊』1940年第一卷第1期  
1945年第四卷第8期。綏遠西北日報社編『綏  
遠西北日報』1935年10月15日 1937年7月29  
日。中国第二歴史档案館編『中華民国档案資  
料彙編』第5 - 6輯 江蘇古籍出版社 1994  
年。内蒙古自治区档案館編『大青山抗日遊擊

根拠地資料選編(歴史档案部分)』内蒙古人  
民出版社 1986年。郝維民主編『内蒙古革命  
史』内蒙古大学出版社 1997年8月。祁建民  
著『二十世紀三四十年代的晋察綏地区』天津  
人民出版社 2002年5月。白拉都格其・金  
海・賽航著『蒙古民族通史』第五卷 上下  
内蒙古大学出版社 2002年11月。